

令和元年度  
(平成31年度)

# 事業報告書



みんなの「生きる」を  
社会福祉法人

埼葛福祉会  
神明苑

## もくじ

利用者の概要	1
生活支援について	2
保健衛生計画の報告	7
栄養管理計画の報告	9
安全防災計画の報告	12
短期入所事業	13
日中一時支援事業	15
相談支援事業	16
庶務課事業報告	17
苦情処理報告	18

## 利用者の概要(令和2年3月現在)

### 1. 年齢構成

年齢	男	女	通所	計
～ 30	1	1	3	5
31 ～ 35	2	1	1	4
36 ～ 40	1	0	2	3
41 ～ 45	12	4	2	18
46 ～ 50	11	9	0	20
51 ～ 55	3	1	1	5
56 ～ 60	0	1	0	1
61 ～ 65	0	1	0	1
65 ～	0	2	1	3
計	30	20	10	60

通所利用者平均年齢                    38.9 歳

### 2. 障害の支援区分(受給者証)

支援区分	男	女	通所	計
3	0	0	1	1
4	4	4	4	12
5	12	4	3	19
6	14	12	2	28
計	30	20	10	60

\*令和2年3月31日現在

入所男性利用者平均年齢        44.73 歳

入所女性利用者平均年齢        48.7 歳

入所利用者平均年齢            46.32 歳

### 3. 市町村別構成

出身地(受給者証給付市町)	男	女	計
越谷市(通所・しんめい)	15 (4)	5 (6)	20 (10)
春日部市	4	0	4
草加市	0	2	2
さいたま市	2	2	4
三郷市	2	2	4
久喜市	1	2	3
吉川市	0	3	3
川口市	0	3	3
八潮市	2	1	3
松伏町	1	0	1
杉戸町	1	0	1
野田市	1	0	1
足立区	1	0	1
計	34	26	60

利用者の加齢に伴う様々な障がいに応じて、「安定した生活」と「健康管理」を最重要課題として個別支援計画を作成し継続支援を行っている。

1. 安定した日常生活の充実

「健康管理と日々の支援の反復により利用者の精神的な安定を図る。

また、安定した生活リズムの中で心身機能の維持向上や特性の伸長、一般社会への適応促進を図っていく」という支援方針の共通理解のもと、利用者一人ひとりの支援目標に沿い、起床から就寝までの基本的な生活習慣を定着させ、一日の生活の充実に向けての支援を行っている。

2. 利用者一人ひとりに応じた支援

前頁の表1において、41歳～45歳の利用者が18名（昨年度22名）に対し46才～55才の利用者が20名(昨年度17名)と利用者数の最多年齢層が逆転した現状など加齢・高齢化に伴い、身体機能の低下や生活習慣病による内臓疾患等に注意し支援を行ってきた。

また、てんかんや自閉的傾向、行動障害のある利用者も多く、観察・記録、定期通院、服薬管理、補助具使用、医療機関との連携を図るなど日常の健康管理には十分な留意を払っての支援を行ってきた。

日中の生活介護では利用者を5班（男性利用者で散歩中心の ①散歩班、自主製作や請負作業中心の ②軽作業班、車で公園等に出かけ、散策やウォーキング中心の ③らくだ、④チャレンジ、の2班、屋内活動や残存機能維持運動中心の ⑤フリーダム班）に分けての活動を行ってきた。

健康管理への支援比重が大きいことから、各班ウォーキングに重点を置き機能低下防止につとめた。

本年も2名の利用者に通所での日中活動を提供できた。

・通所事業（しんめい）は在宅利用者の生活介護の場としての役割を果たしている。

継続して 箱折り、ネジ組立の作業を中心に七宝焼き、ビーズなどの自主制作活動、じゃがいも・さつまいもなどの農産活動、苑内花壇の整備・灌水といった内部活動に加え、除草作業等の越谷市共同受注作業や、地域適応支援事業の職場実習（一般企業での実習）にも参加し他団体との交流も積極的に行っている。

字を書く、数をかぞえる、歌う、絵を描くといった五感を刺激する学習で感情表現を豊かにしコミュニケーション能力を高めたり、生活習慣病予防、機能低下防止のため車で公園に外出し散歩やボールなどの遊具を使つての運動、季節を感じる毎月のレクリエーション活動で気分転換も図っている。

通所利用者だけでなく入所利用者も通所の活動に参加する等、生活介護の幅が広がっている。また、地域貢献活動として、近隣のごみ拾いなどのクリーン活動やカブトムシを幼虫から飼育し、成虫の配布活動も行った。

### 3. 音楽療法

月3回（入所2回、通所1回）専門家を招き、音楽を通してのコミュニケーションや精神的な安定を図るセラピーで大きな成果を上げている。

### 4. 外食の日、買い物支援

施設外での活動を通しての社会適応訓練として、月1回の外食の日や毎週の定期的な買い物支援は、いつもとは違う雰囲気の中での食事や好みのメニューを意思決定し選択、また、欲しいものや気に入ったものを手にすることができることから利用者の大きな楽しみとなっている。利用者は外食の日や買い物支援が生活リズムの一部になっており精神的安定につながっている。

### ・行事について

利用者が楽しみや喜び等を感じ潤いのある生活を提供し、一般社会への適応を促進する機会、心身機能の向上、安全で健康な生活を送るなどの目的で諸行事を実施している。

今年度から、女性棟で小グループに分けての個別外出を試み、利用者へ刺激を与え、リフレッシュしていただく支援ができた。

\*お楽しみ会的行事

- ・夕涼み会
- ・クリスマス会
- ・新年会
- ・誕生会

\*社会参加・地域交流的行事

- ・ふれあいの日
- ・神明苑まつり
- ・外出

\*健康・安全的行事

- ・定期健康診断
- ・予防接種
- ・避難訓練
- ・地域防災訓練

行事名	実施・参加日	内容
日帰りバス旅行 (金谷港・ザ.フィッシュ・海ほたる)	4月19日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入所、通所利用者が参加</li> <li>・外食(昼食)を兼ねた外出企画</li> </ul>
ふれあいの日 (中央市民会館)	6月2日(日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作業班で製作した作品の展示販売と会場に訪れた人たちとの交流</li> <li>・利用者 3名、職員 3名</li> <li>・しんめい(通所) 利用者、職員全員参加で舞台発表</li> </ul>
健康診断	7月19日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・埼玉県健康づくり事業団による健康診断</li> <li>・全入所利用者、全職員が受診</li> </ul>
夕涼み会	8月23日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者、職員みんなで食事やスイカ割りなどで夏の夕べのひと時を楽しむ</li> <li>・保護者の協力を得て屋台実施</li> </ul>
避難訓練 非常食訓練	9月26日(木) 令和2年3月26日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「火元」や「危険」から迅速に避難することを中心に全員参加で行った。</li> <li>・3月には初の試みとして職員により炊き出し訓練も実施した。</li> </ul>

神明苑まつり	10月 14日 (日)	・アトラクションの演奏、演舞、 やきそば等の模擬店を実施。
神明町3丁目 防災訓練	開催中止	・地域の防災訓練に参加 近隣の公園へ移動する訓練。 ・利用者 1名、支援員 1名
女性棟個別外出	9月 4日 9月 10日 9月 13日 9月 18日 9月 25日 10月 2日 10月 8日 10月 11日 11月 12日	小グループに分かれ外出を企画 ・越谷レイクタウン猫カフェ ・すみだ水族館 ・創作料理 一幸 ・お台場 ・浅草 ・お台場 ・大宮 スイーツパラダイス ・がってん寿司, コメダ珈琲 ・東京駅 職員各2名と利用者2~3名で 普段と違う日課、場所で刺激ある 楽しい雰囲気を提供。
インフルエンザ. 予防接種 (けやきクリニック)	11月 28日 (木) 12月 5日 (木)	・インフルエンザ流行予防のため、 全利用者、全職員が接種 ・職員は他医療機関での接種可
クリスマス会	12月 25日 (火)	・バンド演奏、 サンタからのプレゼント
新年会	1月 7日(火)	・鏡割り、のど自慢大会、 エア餅つき、 ・福袋プレゼント
男性棟 バーベキュー	2月 26日(水)	・昼食をバーベキューによる 焼き肉などで提供
お誕生会	・各月第1木曜日	・利用者の誕生日を月毎にお祝いする ・担当職員からの手作りプレゼントと お祝いの言葉

\*その他

- ・福祉系大学、専門学校の実習生
- ・小、中学校教員免許取得における介護等体験学生
- ・越谷市市民後見人候補者養成研修対象者

などの受け入れを実施し、実際に支援したり交流することにより、障がいへの理解を深めるとともに職員、利用者への刺激を促した。



## 保健衛生計画の報告

令和元年度

看護師 鈴木モト子

利用者の加齢高齢に伴い、疾病・障害の重度化、多発化が進み、日常の健康管理が安全で安定した生活を営む上で重要な課題となっている。

### 1、異常の早期発見

本年度は、救急車対応の事態はなかった。

入院については、精神面の不安定の悪化により現在も加療中の利用者がいる。

又、肺炎で二度入院・治療したケースがあった。

### 2、転倒・怪我の防止

本年度は、転倒・怪我による入院・手術の対応はなかった。

怪我の原因は、いくつかあり、転倒以外にも利用者同士の接触に因るものが少なくない状況である。

怪我防止の見守り把握がより重要となってくる。

### 3、流行性疾患の予防

インフルエンザについては、例年より早い時期に16名罹患したものの以降、感染者は出なかった。

ノロウイルスの罹患者はなかった。

他に、年度初め急性胃腸炎に10名罹患した。

### 4、定期(継続)通院に伴う家族との連携

家族との情報交換を密に行い、薬や症状などの情報を共有している。

通院科別、月別統計

(自動計算枠)

	内科	整形外科	外科	脳外科	精神科	神経内科	婦人科	泌尿器科	眼科	歯科	皮膚科	耳鼻科	定期検査	宮崎齒	月間合計
4月	18	2	0	0	30	1	0	0	0	3	5	3	0	7	0
5月	5	3	4	1	46	0	0	0	2	2	5	1	0	0	0
6月	16	2	0	1	24	1	1	2	3	2	3	2	0	8	66
7月	5	2	4	0	48	0	0	0	0	0	5	1	0	9	76
8月	6	4	1	0	49	0	0	1	0	1	5	1	0	11	88
9月	9	2	3	0	47	1	1	0	2	3	2	2	29	12	105
10月	11	6	5	0	51	0	1	0	1	3	9	1	0	11	92
11月	5	7	2	0	47	0	0	0	1	4	2	2	0	8	74
12月	27	2	1	0	53	1	1	0	1	0	8	2	0	5	87
1月	6	1	1	0	46	0	0	0	0	2	2	3	0	9	76
2月	12	2	1	1	33	0	0	0	0	2	5	2	0	13	69
3月	13	2	0	0	54	0	0	0	2	0	5	2	25	9	108
年間合計	133	35	22	3	528	4	4	3	12	22	56	22	54	102	841

(総計)

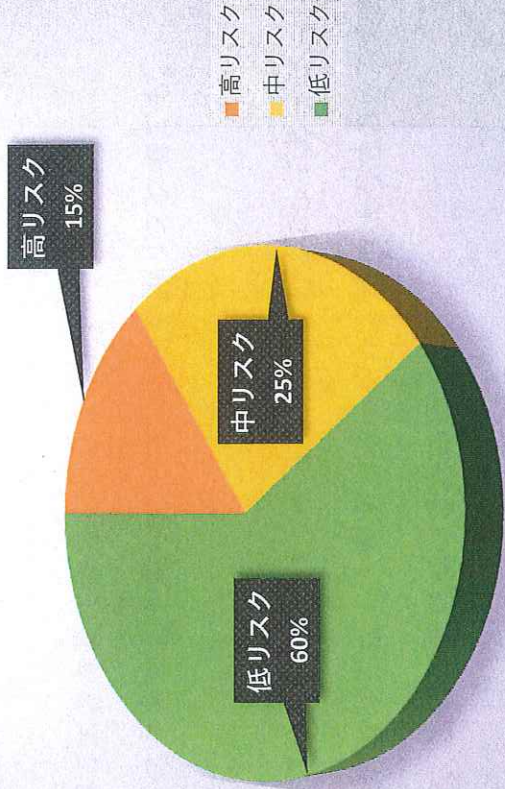
## 栄養管理計画の報告

令和元年度  
管理栄養士 一瀬江里子

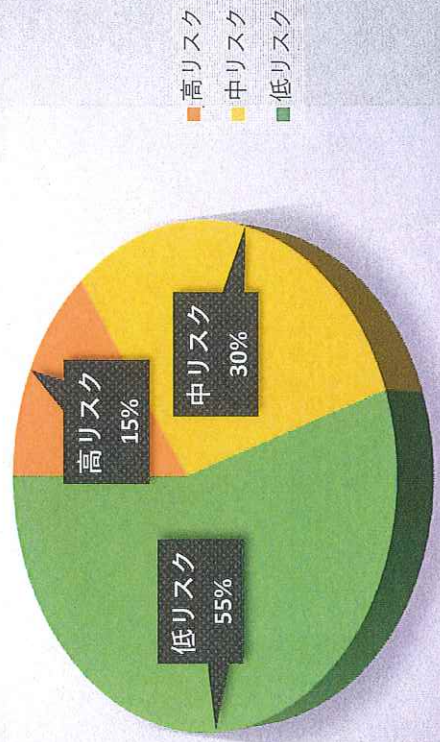
### 年間の活動

- ① 利用者のスクリーニングを行い、低栄養・過栄養のリスクの把握を行う（体重・身長からのBMI、喫食率、疾病の有無等）
- ② スクリーニングを踏まえてアセスメントを行う（支援員・看護師にも協力してもらい、健康診断や採血の結果・食事に関する留意事項等記入）  
※月に1回の体重測定・年1回の健康診断の結果・年2回の南埼玉病院の健診の結果（該当者のみ）・個別支援計画書の確認・日々の喫食率の平均・熱発や嘔吐等・食事形態・嗜好・帰宅時の家庭での状況・口腔状態・四肢の状態等、記入
- ③ 栄養ケア計画書を作成し、保護者に同意を得る（リスク変更するごとに作成し直す。変更が無くとも1年ごとに再度作成し、保護者の同意を得る）  
保護者会や帰宅・帰苑時にサインを頂くことが出来ない場合は郵送にて返信用封筒で返信をお願いする（特記事項欄に計画書の変更理由を記載）
- ④ リスクごとのモニタリングを実施（低リスク；3ヵ月ごと・中リスク；1ヶ月ごと・高リスク；2週間ごと・その他喫食率の低下や体重の急激な増減等気になる場合はリスクに関わらず実施）
- ⑤ 再スクリーニングはリスクに関わらず3ヵ月毎に行う  
※スクリーニング・アセスメント・モニタリングは同一用紙に記入  
利用者ごとにファイルに綴じておく
- ⑥ 毎月の支援会議にてアセスメント・モニタリングの結果報告（食事内容の変更や体重の増減について、リスク変更等の相談等も合わせて行う）
- ⑦ 食事形態の変更や食事内容の相談、個別対応等を給食委託会社と調整を行う

女性・H31.4月



女性・R2.4月



男性・H31.4月



男性・R2.4月



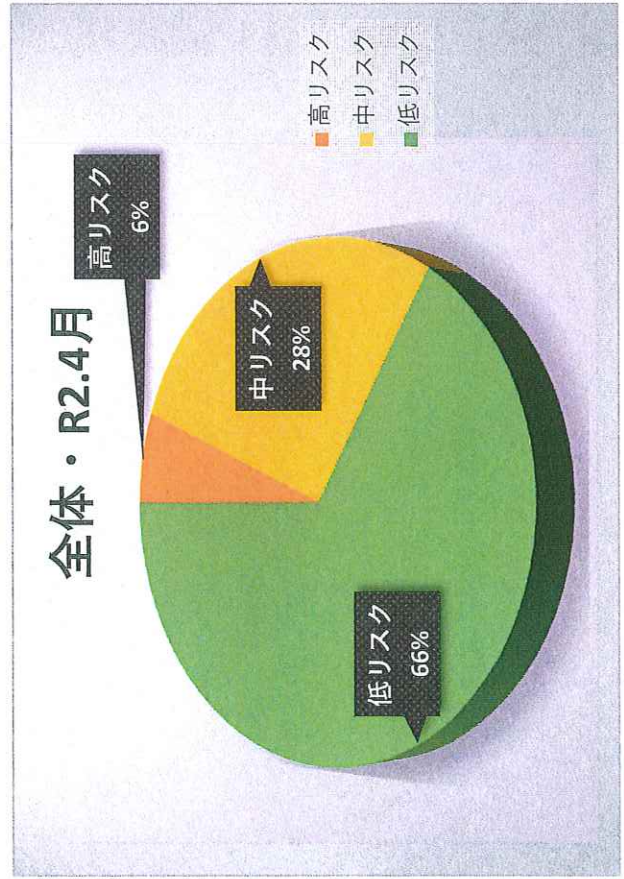
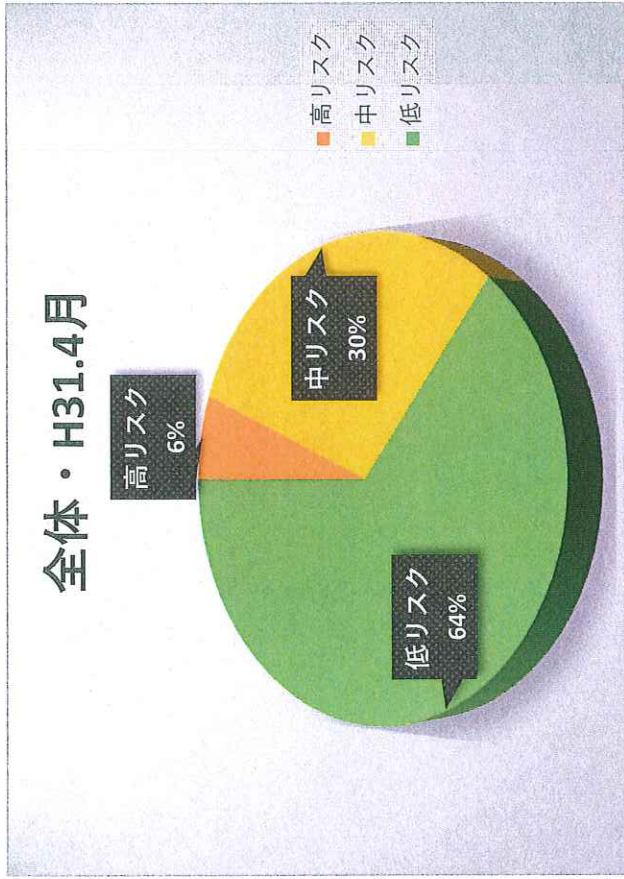
### 年間の傾向とまとめ

昨年と比べて大きな変化は見られなかった。

男性は中リスク者が若干減っていて、現在の中リスク者でも、低リスクに近い者が多い。

女性は中リスク者が1名増えて、高リスクは変化なしであった。

全体的に大きな変動なく、安定しているが、精神状態での体重変動もあるので、注意して見ていきたい。



# 安全防災計画の報告

防火管理者 後藤 勇樹

## 避難訓練について

・令和元年9月26日と令和2年3月26日に避難訓練を行いました。合わせて管理栄養士の協力のもと利用者と職員の昼食を非常食とし非常食訓練と炊き出し訓練も行いました。火元や危険から迅速に避難することを中心に全員参加で行いました。利用者の高齢化もあり、中庭を通過する際の避難は転倒の危険がある方がいるので細心の注意を払い避難してもらいました。非常食訓練では、9月は、日清医療食品の協力のもと五目御飯・五目豆・ぶり大根を提供しました。また、3月の避難訓練では、炊き出し訓練を行い、職員でおこわ・豚かく大根・味噌汁・羊羹を調理し提供しました。各職員で連携し特に混乱なく利用者に提供できました。お粥の利用者もいるので、これも職員は細心の注意を払って介助しました。

## 安全環境整備点検について

・安全・環境整備点検として、各区画毎に担当職員を決め点検し、所定の用紙に記入してもらい毎月第一月曜日に提出してもらいました。大きな破損や問題はありませんでした。

短期入所事業

支援課長 宇田喜代一

定員	男性	1
	女性	1

開所日

365 日
-------

市区町村別障害支援区分一覧

	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計
越谷市			2	2	5	3	12
春日部市							0
吉川市							0
三郷市					1		1
川口市						4	4
松伏町							1
宮代町						1	1
合計		0	2	2	6	8	18

月別利用実績状況一覧

	男女別利用者		延べ利用日数		
	男	女	男	女	計
4月	3	1	14	10	24
5月	2	3	28	18	46
6月	3	4	27	24	51
7月	4	4	28	20	48
8月	7	3	26	18	44
9月	6	4	21	19	40
10月	7	3	30	20	50
11月	5	2	41	16	57
12月	2	2	7	9	16
1月	4	2	22	16	38
2月	5	2	20	16	36
3月	3	1	18	14	32
計	51	31	282	200	482

## 1, 利用傾向

- (1) 在宅者が日常生活のリズムを作るために定期的に利用していた。
- (2) 利用者の将来を考えて、入所施設の体験を目的とする利用をしていた。
- (3) 家庭での支援が困難な方の生活支援や家族の休息確保等を目的としていた。

同一の利用者が継続して定期的に利用することは、本年度も変化は無かった。

また、保護者や相談支援員からの問い合わせにより新規の利用者(越谷市5名、川口市1名、春日部市1名)を獲得することができた。そのうち、当神明苑での計画相談支援からの利用が2件あり、計画相談との連携ができたケースになった。

多くが施設入所希望のための利用であるが、満床であり入所につながるケースはなかった。

## 2, 今後の課題

一昨年度の延べ利用日数351日、昨年度の延べ利用日数327日に対し、今年度は482日に増加。男女各365日稼働日に対し男女ともに半数の50%の稼働率を超えた。また、男性の利用人数、利用日数が、初めて女性を上回り(長期の短期利用者利用時を除く)、新規の利用者が増えたことを表している。短日の利用から徐々に日数を増やしていくレスパイト利用の利用者も継続して利用されている。

今後も相談支援事業と連携しながら、様々な利用に応えられる地域資源としての務めを果たしていく。



利用契約市町村	越谷市				
		男女別利用者		延べ利用日数	
		男	女	男	女
利用回数等一覧	4月	0	0	0	0
	5月	0	0	0	0
	6月	0	0	0	0
	7月	2	0	4	0
	8月	0	0	0	0
	9月	1	0	1	0
	10月	1	0	2	0
	11月	1	0	1	0
	12月	1	0	1	0
	1月	0	0	0	0
	2月	0	0	0	0
	3月	0	0	0	0
	計	6	0	9	0

1, 利用傾向

今年度も宿泊を前提としない短期入所との併用で日中の短時間を施設で過ごすといった利用ケースが1件継続している。

また、短期入所利用前に慣らしとして利用するケースが1件あった。

このケースはスムーズに短期入所利用に移行できている。

2, 今後の課題

今後も計画相談をもとに相談支援員を介しての利用と

併用しての短期入所にスムーズにつながるよう、この事業を継続していく。

## 令和元年度 相談支援事業 事業報告

地域で暮らす障害者が、施設をはじめ、様々な社会資源を活用できるようネットワークを駆使した情報提供をし、課題解決を図り、自分の望んだ生活が送れるように支援する目的で、平成30年9月に指定特定相談支援事業を開始、今年度は14件の計画相談の依頼があった。多くは、市障害福祉課、相談支援事業所、他障害サービス事業所からの紹介で当事業所に繋がっている。中でも今年度は、特別支援学校卒業予定者4名との契約があった。今後、各関係機関との繋がりの中で、利用者数が徐々に増えてくることが予想される。

### ◎新規契約者数、本計画提出とモニタリング件数について

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
新規契約者数	2	2	4	0	1	2	1	0	0	0	2	0
本計画提出	3	1	3	3	3	0	3	1	3	0	1	0
モニタリング	2	3	5	7	3	4	7	1	6	6	1	3

令和2年3月31日現在 契約者 19件

### ◎今後の課題

- ・利用者の年齢層は、18歳の支援学校卒業予定者から60歳を超えた利用者もいた。その中には、生活保護申請、介護保険移行を準備しているケース等もあり、今後幅広い分野での連携と、相談員の経験、知識も必要になってくる。
- ・ケースの中には様々な困難ケースもあり、計画作成、モニタリングのみに留まらない業務が増えてくることも予想される。利用者への寄り添いの姿勢は基本であるが、どこまでが相談員の業務かという線引きも難しい為、市障害福祉課、障がい者等支援センターなど他機関との連携を図りながら支援に当たる必要がある。

前年度より準備を進めてきた内装改修工事のうち、男性棟トイレ(1・2階)の改修工事を予定通り行いました。理事長、監事2名の方々立ち合いのもと入札が行われ、池中建設(株)が落札し9月下旬に着工、11月18日に引き渡しとなりました。臭気は解消され、明るく利用しやすい、また、清掃しやすい構造となりました。

12月12日には、越谷市による社会福祉施設等指導監査がありました。庶務課についても6つの注意事項を受け、直ちに修正・実行し、理事会・評議員会の承認が必要な事項については、3月の理事会・評議委員会にて承認をいただき実施しました。変更事項については、職員会議等で職員に周知しています。

(主な修理・修繕・買替え等)

4・5号室フロア、訓練室のエアコンの買い替えを行いました。これをもって設立時からのエアコンはすべて買い替えを終えました。

大型乾燥機について秋口より乾きが悪い状態が続き何度か修理、部品交換を行いました。現在は通常使用できていますが、設置から10年とのこともあり、買替えを検討、共同募金助成を利用し大型洗濯機とセットで行う予定です。

(リース契約)

車(ハイエース)、事務パソコン

(再リース契約)

AED、車(キャラバン・AZワゴン)、プレハブ棟エアコン等

(委託契約)

消防用設備等点検結果報告

ユニオン防災(株)

電気設備点検結果報告

本田電気管理事務所

浄化槽保守点検

大阿蘇水質管理(株)

清掃業務(洗濯含む)

越谷市シルバー人材センター

給食サービス

日清医療食品(株)

リネン類

ワタキューセイモア(株)

ごみ処理全般

作良商事

会計

長田公認会計士・税理士事務所

(人事の動き)

平成31年4月30日付	退職	有期職員	支援員	大川澄代
令和元年12月10日付	採用	有期職員	支援員	五十嵐勉
令和元年12月12日付	採用	正規職員	支援員	赤間妙子
令和元年12月26日付	採用	正規職員	支援員	和田真季
令和元年12月31日付	退職	正規職員	支援員	阿部浩美
令和2年1月9日付	採用	有期職員	支援員	宮澤和子
令和2年1月31日付	退職	有期職員	支援員	五十嵐勉
令和2年3月15日付	退職	正規職員	支援員	赤間妙子
令和2年3月20日付	退職	有期職員	支援員	宮澤和子
令和2年3月23日付	採用	有期職員	支援員	野口和夫

# 苦情処理報告

## 体制

苦情処理体制	1) 苦情受付担当者	サービス管理責任者 : 後藤勇樹 支援課主任 男性棟 : 須藤 崇 支援課主任 女性棟 : 瀬川綾子 支援課主任 しんめい : 石黒崇史
	2) 苦情解決責任者	神明苑 施設長 田村嘉朗
	3) 第三者委員	埼玉葛福社会 監事 牧田昌己 埼玉葛福社会 監事 石野友治
	受付、連絡先	神明苑 Tel 048-963-3289 fax 048-963-3227 E-mail <a href="mailto:shinmei@bd.wakwak.com">shinmei@bd.wakwak.com</a>

## 報告

令和元年度の受付件数は、無し。

- 1 p5 「神明町3丁目防災訓練 開催中止」  
3月の地元自治会主催の防災訓練に参加予定であったが、新型コロナウイルスの影響で開催そのものが中止となったため。
  
- 2 p7 「1、異常の早期発見」
  - 加療中の利用者は、3月より、入退院の繰り返しで、現在再入院にて支援を継続している。
  - 同一人物が6月と12月に肺炎で入院した。
  
- 3 p17 大型洗濯機・大型乾燥機の購入については、令和2年度の共同募金助成の決定を受けましたので、4月以降の手続きを行います。



3つの【密】、絶対に避けて

換気の悪い 密閉空間	大勢がいる 密集場所	間隔で会話する 密接場面
		
〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇

